

「小説家という仕事」 ～想像から創造へ～

入場
無料



葉室 麟氏
(第146回直木賞「蝸ノ記」)



対談



東山 彰良氏
(第153回直木賞「流」)

コーディネーター **岩豪 友樹子氏**
(九州芸術祭文学賞大分県地区選考委員)

私たちの心揺さぶる小説は、どのように生み出されるのでしょうか。

『蝸ノ記』で直木賞受賞後も歴史、時代小説の分野で精力的に作品を発表し続ける葉室麟氏、推理小説にハードボイルド、アクション、ホラー、SFと自在に作風を変え、70年代の台湾を舞台にした『流』で直木賞を受賞した東山彰良氏。経歴も作風も異なる二人の直木賞作家が、それぞれの小説の流儀について語ります。

日時

2016年2月6日(土) 14時～16時 (13時30分開場)

会場

ホルトホール大分 大会議室
(大分市金池南1丁目5-1 TEL097-576-7555)

定員

200人 ※先着順。事前のお申し込みが必要となります。

お申し込み

往復はがき、またはメールで名前、住所、連絡先の電話を記載してお申し込みください(1月末必着)。折り返し、整理券または整理番号を返信いたします。

往復はがき 〒870-8501 (郵便番号のみで届きます)
大分県芸術文化振興課事業推進班宛て

メール a10940@pref.oita.lg.jp

- 主催 (公財)九州文化協会、大分県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、福岡市、北九州市、熊本市
- 共催 大分県芸術文化振興会議、西日本新聞社、福岡文化連盟
- 後援 大分合同新聞社

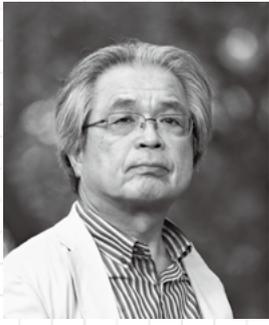
*顔写真提供 ©講談社

■内容についてのお問合せ
(公財)九州文化協会

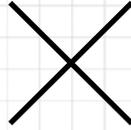
TEL 092-406-8581 (平日10時～17時)

FAX 092-771-0189

メール kyubunky@elf.coara.or.jp



葉室 麟氏
(はむろ・りん)



東山 彰良氏
(ひがしやま・あきら)

1951年北九州市生まれ。79年に西南学院大学文学部卒業。地方紙記者などを経て2005年「乾山晩愁」で歴史文学賞受賞。07年「銀漢の賦」で松本清張賞受賞、12年「蝸ノ記」で直木賞受賞。福岡県久留米市在住。

1968年台湾台北市生まれ。西南学院大学経済学部卒業、95年同大学院経済学研究科修士課程修了。2002年「タード・オン・ザ・ラン」で「このミステリーがすごい！」大賞銀賞・読者賞、09年「路傍」で大藪春彦賞受賞。15年「流」で直木賞受賞。福岡県小郡市在住。

■コーディネーター **岩豪 友樹子氏** (いわごう・ゆきこ)

劇作家、別府大学文学部非常勤講師。国立劇場「江戸宵闇妖鉤爪(えどのやみあやしのかぎづめ)」「(主演・松本幸四郎、市川染五郎) = 2008年、大谷竹次郎賞奨励賞 = をはじめ、国立劇場上演作品を多数執筆。大分市在住。

芥川賞への近道 九州芸術祭文学賞に応募しませんか…

1970年に誕生した「九州芸術祭文学賞」(小説)は、公益財団法人九州文化協会が九州・沖縄各県、福岡・北九州・熊本の3政令指定都市との共催で運営し、本年度で46回を数えます。

各地区選考につづく毎年1月下旬の中央選考(選考委員は五木寛之、村田喜代子、又吉栄喜、『文學界』編集長の各氏)において最優秀作が選ばれ、『文學界』(文藝春秋刊)に掲載されます。中央の文壇の目が届きにくい地方の文学賞では異例のことで、第27回最優秀作『水滴』(目取真俊)は芥川賞に輝きました。このほか、村田喜代子、又吉栄喜、大道珠貴の各氏ら芥川賞作家たちも、この文学賞を受賞して文壇にデビューしています。第47回の募集は本年5月1日にスタートします。

九州芸術祭文学賞から巣立った芥川賞作家たち

第7回最優秀作

「水中の声」村田 喜代子

▶1987年「鍋の中」で芥川賞

第8回最優秀作

「ジョージが射殺した猪」又吉 栄喜

▶1996年「豚の報い」で芥川賞

第27回最優秀作

「水滴」目取真 俊

▶1997年、同作で芥川賞

第30回最優秀作

「裸」大道 珠貴

▶同作で芥川賞候補

▶2003年「しよっぱいドライブ」で芥川賞